

千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1
公益社団法人千葉県園芸協会
連絡先 043(223)3005
発行日 毎月1日
令和3年3月号

全農営農管理システム Z-GIS による営農管理支援

全国農業協同組合連合会 千葉県本部
営農支援部 営農企画課 高橋 佑助

全農営農管理システム Z-GIS は、ほ場の位置情報と Excel に記入したほ場情報を紐づけて管理するクラウド型システムです。規模拡大に取り組む担い手農家や担い手農家のほ場情報管理を行う JA にとって有用なシステムです。

1 はじめに

農業生産を維持、拡大するための1つの手段に「ICTの活用」があります。労働力が不足する中、農業現場で効率的、省力的に生産を行うには、ICTをうまく活用することが重要です。そこで全農は、ほ場管理の効率化を目的に営農管理システム Z-GIS を開発し、サービスを提供しています。

Z-GIS とは、地図の位置情報と Excel データを結びつけて管理するクラウド型のシステムです。

2 主な機能



Z-GIS 操作画面

- (1) ほ場毎に Excel の行が作成され、列項目に各種データの登録、管理ができます。
- (2) 管理項目別にポリゴンの色分け表示や文字表示ができ、見やすく情報を把握・共有ができます。また、紙面への印刷も可能です。
- (3) Excel の機能（一部関数計算など）を Z-GIS 上で活用できます。
- (4) クラウド上にデータを保管することで、パソコンやタブレット、スマートフォン端末にて複数名での情報共有ができます。
- (5) 1km メッシュ気象情報が利用でき、ほ場ごとの情報（天気予報、積算気温や積算降水量、平年との比較）が取得でき、営農計画に活用できます。

3 活用事例

Z-GIS は Excel をベースとするため管理項目を自由に設定できることから、様々な場面で活用されています。また、「事業承継のツール」と考え、取り組んでいる事例もあります。

- (1) ダイコン生産部会の GAP 管理でのほ場管理（所有者、生産面積、品種、播種日など）に活用しています。
- (2) 水稻無人ヘリ防除計画の管理に活用しています。防除対象ほ場を毎年白地図に手書きする手間を省けます。
- (3) 水稻生産法人でほ場情報の管理に活用しています。作業内容や場所の指示に間違いをなくし、従業員の作業効率改善に有効です。
- (4) さつまいもやダイコン、イチゴの栽培記録に活用されるなど、取組品目が拡大しています。

4 利用

- (1) 料金
0~1,999 ほ場：100 ほ場毎に月額 200 円＋税
2000 ほ場以上：月額 4,000 円＋税（定額）

- (2) 利用方法

下記の Z-GIS ホームページから、「Z-GIS オンライン利用申込み」より申込できます。受付完了後、ID・パスワードが付与され利用可能となります。ソフトは、同ホームページの「ダウンロード」からダウンロードして下さい。

〈ホームページ〉 <https://z-gis.net/99/>

5 さいごに

全農千葉県本部では、Z-GIS を規模拡大に取り組む担い手農家や担い手農家のほ場管理を行う JA にとって有効なシステムと考え、今後 JA グループの営農情報管理における基本システムとして活用を進めます。農業 ICT を適切に活用し、効率的な営農と農家手取り最大化に取り組みます。

野菜ニュース



7月どりスイートコーンの優良品種

(第68回千葉県野菜品種審査会)

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所
野菜・花き研究室 研究員 小林 由里奈

4月上旬播種の7月どりスイートコーンの優良品種として、「サニーショコラ ライラ」(みかど協和(株))、「ほしつぶコーン」(タキイ種苗(株))、「わくわくコーン 82」(カネコ種苗(株))、「R6-305」(トキタ種苗(株))、「ミルキースイーツ 88ST」(同)、「SK4-117」((株)サカタのタネ)の6品種が入賞しました。

1 はじめに

千葉県におけるスイートコーンの産出額は36億円で、全国第2位(平成30年生産農業所得統計)です。ハウス栽培、トンネル栽培及び露地栽培が行われており、5月下旬から9月上旬まで出荷があります。また、県南部の観光・直売施設においても夏季の主要な品目であり、倒伏に強く、高品質で収量性に優れた品種が望まれています。

そこで、7月どりスイートコーンの黄色種優良品種を選定することを目的に第68回千葉県野菜品種審査会が農林総合研究センター暖地園芸研究所で開催されました。

2 栽培の概要

審査会の出品点数は21品種でした。栽培は令和2年4月10日に1か所3粒を播種し、5月14日に1か所1本立ちとしました。栽植密度は、畝幅160cm、条間40cm、株間30cmの2条千鳥植(黒マルチ使用)としました。播種直後にまとまった降雨があり、湿害による欠株が生じた箇所には5月14日に苗を補植しました。6月16日及び6月23日に除草を行い、除けつは行いませんでした。

3 審査結果

7月7日に審査員20名で立毛及び収穫物の審査を行いました。その結果、「サニーショコラ ライラ」、「ほしつぶコーン」、「わくわくコーン 82」、「R6-305」、「ミルキースイーツ 88ST」、「SK4-117」の6品種が入賞しました(表)。入賞品種はいずれも倒伏に強く雌穂が大きい品種でした。1位の「サニーショコラ ライラ」は先端不稔の発生が少なく、生育及び収穫物の揃いが良好でした(写真)。



写真 1位「サニーショコラ ライラ」

4 おわりに

以上のように、7月どりスイートコーンの優良品種として、高品質で収量性に優れたこれらの品種の現地への普及が期待されます。

表 第68回千葉県野菜品種審査会(とうもろこしの部)の審査結果及び入賞品種の特性

順位	品種名	種苗会社名	審査結果			雌穂重 (g)	倒伏 程度
			立毛	収穫物	合計		
1	サニーショコラ ライラ	みかど協和(株)	73.1	252.4	325.5	381	1.5
2	ほしつぶコーン	タキイ種苗(株)	73.5	245.9	319.4	415	1.5
3	わくわくコーン82	カネコ種苗(株)	72.0	242.7	314.7	419	1.5
4	R6-305	トキタ種苗(株)	78.0	234.3	312.3	371	1.0
5	ミルキースイーツ88ST	トキタ種苗(株)	82.5	226.9	309.4	394	0.0
6	SK4-117	(株)サカタのタネ	76.6	231.7	308.3	387	0.5

注1) 審査は7月7日に行い、配点は立毛100点、収穫物300点の合計400点

注2) 雌穂重は、7月7日に各区18本収穫し大きい方から順に並べた後に、奇数番の雌穂について包葉をつけたまま測定した

注3) 倒伏程度は7月3日に0(倒伏なし)~4(甚大)の5段階で評価した

野菜ニュース



農業用パイプハウスの自力施工研修会を開催

千葉県農林水産部生産振興課
園芸振興室 副主査 峰島 恒

県とJA全農ちばは、令和元年度に発生した一連の災害からの早期の営農再開に向けて、農業用パイプハウスの自力施工に係る研修会を開催しました。県内各地から約160名の参加があり、座学や実技、模型の展示を通じて自力施工に係る技術習得が図られました。

1 取組背景と概要

本県農業は、令和元年の台風や大雨により、各種施設の損壊や果樹の倒木、農作物の流亡や冠水等、過去に類を見ないほどの大きな被害を受けました。特に、幅広い品目で利用される農業用パイプハウスについては、北総台地や南部地域を中心に、県全域で大きな被害がありました。

県では、被災農業施設等復旧支援事業や農業用ハウス強靱化緊急対策事業を活用した被災ハウスの再建や予防的補強を支援するとともに、JA全農ちばと連携し、農業用パイプハウスの自力施工技術の習得を目的とした自力施工研修会を3回実施してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響等により再建や補強の工事が遅れており、完了までに相当の期間を要する産地もあります。

そこで、昨年度に引き続き「農業用パイプハウスの自力施工に係る研修会」をJA全農ちば営農技術センターで開催しました。10、11月に3回開催し、延べ158名の参加がありました。

2 研修会

研修会ではJA全農ちばが講師を務め、座学の他、実際に資材に触れて施工を学ぶ実技実習を行いました。座学ではパイプハウスの建て方の動画等を用いた講義が行われ、必要な工具や資材、施工の全体概要、具体的な作業手順、注意点等の説明をしました。

実技では、直角を確保するための「地どり」、アーチパイプの埋め込みと接続の方法、被覆資材の展張に必要な各種資材の設置等について、講師の指導のもと、生産者が作業を行いました。

また、研修会場にハウスの補強効果を再現したミニチュア模型を展示したところ、多くの生産者が

興味を示し、「補強の手段と効果が分かりやすく理解できた」といった意見がありました。

参加者からは「手順や必要な道具が分かって良かった」「価格相場も知りたい」といった意見もあり、自力施工への関心の高さが伺えました。また、参加者の栽培品目は水稻、野菜、果樹、花きと多岐に渡り、半数以上が自力施工を予定していることが分かりました。

県とJA全農ちばでは、今後も農業用パイプハウスの自力施工や補強に係る取組を推進し、産地の復興と災害に強い産地づくりに取り組んでまいります。



自力施工の実習の様子



パイプハウスの補強モデルの展示

頑張る産地



みんなを笑顔に！ 鎌ヶ谷の梨

東葛飾農業事務所 改良普及課
普及指導員 中尾 友

鎌ヶ谷市は江戸時代から続くナシの大産地です。鎌ヶ谷市梨業組合（149名、令和2年度）では、産地計画の作成や、研究部を中心とした担い手の育成、積極的な輸出、加工品開発等により、産地の発展に取り組んでいます。

1 鎌ヶ谷市は梨の大産地！

鎌ヶ谷市のナシ栽培は江戸時代からの歴史があり、栽培面積は約 177ha^{※1} で、日本なし結果樹面積全国1位の千葉県^{※2} において、約 13%の面積を占める有数の産地です。都心から 25 km圏内という立地や、鉄道網が発達していることを活かし、市場出荷に加え、直売所や観光農園でのナシ販売・収穫体験が盛んなことが特徴です。



夏には直売所が賑わいます
鎌ヶ谷市マスコットキャラクター「かまたん」

2 鎌ヶ谷市梨業組合の取組

(1) 産地計画の作成

大産地ではありますが、産地のリーダーとなる担い手の育成、生産量の維持・向上、消費者ニーズの多様化への対応などには課題もあります。そこで、今後も産地を維持していくために必要な、具体的な取組を示した産地計画を令和2年度に作成しました。

計画の作成により、計画的な改植の推進、早期成園化・省力樹形の導入、有利販売が期待できる品種の生産拡大など、取り組むべきことを生産者や関係機関で共有することができました。

(2) 産地のリーダー育成と生産力の向上

中核的な生産者が加入する研究部では、新技術の導入や各種研修会を開催し、担い手の育成を図っています（後述）。また、研究部員の積極的な改植や新技術の導入が地域に波及し、組合全体の生産力向上の原動力にもなっています。

(3) 消費の拡大に向けて

市場や消費者のニーズが多様化する中で、多くの人に鎌ヶ谷の梨を楽しんでもらうため、商工会等と連携し、梨を使ったワインやサイダー、カレーを開発、販売しています。また、平成28年からマレーシアへの輸出にも取り組み、延べ約7,000kgの梨を輸出し、現地で高い評価を得ています。

3 研究部の再編と活性化

研究部では、部員の加入年数の経過と共に、活動の新規性がないことなどから、活動が停滞していました。そこで、若手部員からの「意欲のある部員で、より活発な活動をしていきたい」との声を受けて、令和元年度に研究部を再編し、主体的に活動する意欲のある15名の新体制となりました。

新体制となってからは、産地計画で推奨品種とされた鎌ヶ谷発祥の新品種「秋のほほえみ」の生産拡大に向けた苗木導入やPRのぼりの作成を行ったり、土壌病害の白紋羽病対策の試験を行うなど、技術・知識向上に向けた活発な活動を行っています。また、近隣産地との交流により、新たな生産者ネットワークが構築され始めています。



研究部の芽接ぎ講習会

4 これからの展望

改植の推進、PR活動や輸出、研究部活動の充実など、生産、流通・販売、担い手の各方面から積極的な取組を行い、歴史ある産地を発展させていきます。

※1 2015年農林業センサス ※2 令和元年作物統計調査

県産農林水産物の お取り寄せ情報を発信！

千葉県農林水産部流通販売課

県では、県産農林水産物の販売促進の一環として、通販に取り組む生産者や生産者団体の情報を県ホームページ「教えてちばの恵み」で紹介しています。

インターネットや電話、FAXやメールを使用する通販の活用は、新型コロナウイルスの感染拡大防止にも有効です。この機会に、通販に取り組んでみませんか？

通販に取り組んでいる生産者、生産者団体がホームページへの掲載を希望する場合は、以下の連絡先に御連絡ください。追って様式をお送りします。

メール：3085hanbai@mz.pref.chiba.lg.jp

電話：043-223-3085 FAX：043-227-8307

なお、掲載要件は以下となります。

- (1) 対象者：県内生産者、県内生産者団体、農林水産物直売所等
- (2) ウェブ、メール、電話、FAX、SNSなどを活用して通販に取り組んでいること。(外部サイトの利用、電話やFAXのみでの受付も可)
- (3) 商品の内容が分かる、ウェブサイトやカタログ、チラシ等の商品情報があること。
- (4) 取り扱い品目が県産農林水産物やその加工品であること。

実際のページは以下の二次元コードから御覧ください。

📄 お取り寄せに関する情報 (二次元コード)



サツマイモ^{もどぐさ}基腐病の発生防止に 御協力願います

千葉県農林水産部安全農業推進課

サツマイモ基腐病は、茎が地際部から黒変し、イモのなり首側から腐敗していく病害であり、多発したほ場では大幅な減収を生じます。県内ではまだ発生が確認されていませんが、沖縄、宮崎、鹿児島、福岡、長崎、熊本、高知及び静岡の8県で発生が確認されています(令和2年12月現在)。

本病は、病原菌に感染した種いもや苗(以下、「種苗」)により発生が拡大することから、本病発生防止のため、以下の取組に御協力をお願いします。

(1) ほ場に持ち込まない対策

- ・未発生ほ場で生産されたことの確認などにより、健全種苗を確保する。
- ・植付け前の種苗消毒を行う。
- ・栽培期間中は、ほ場観察を通じて本病の早期発見に努める。

(2) ほ場で増やさない対策

- ・疑似症状を発見したら、早期にはほ場から除去し処分後、予防のため、銅剤を散布する。
 - ・水はけが悪いほ場で発病しやすいので、排水路を整備するなど、ほ場の排水を促進する。
- 疑似症状が確認されたら、お近くの農業事務所までお問合せ願います。



地上部の変色



地際部の黒変



株元の茎の黒変



感染したイモの腐敗

出典：「農研機構生研支援センターイノベーション創出強化研究推進事業(01020C)令和元年度版マニュアル「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策」

新・農業人フェア 2020 に参加して

公益社団法人千葉県園芸協会
産地振興部 塩崎 桂司

全国の農業に興味を持つ方々を対象とした「新・農業人フェア 2020」に千葉県農林水産部担い手支援課、公益社団法人千葉県園芸協会、一般社団法人千葉県農業会議が、千葉県新規就農相談センターとして参加しましたので概要をお知らせします。

フェアは新型コロナウイルス感染が拡大している状況下で、都内のコンベンションホールを開催場所としていることから、ウイルス対策を徹底する対応がとられ、相談は対面・オンライン併用での開催となりました。そのような中でも主催者発表の相談者数は、第1回740人、第2回1,209人、第3回856人と昨年を大きく上回る人出となり農業への関心の高さが伺われます。

千葉県ブースは、第1回は対面、第2、第3回はオンラインで出展しましたが、いずれの回も相談待ちの列ができるほど人気で、休みなしでの対応となりました。技術習得、資金、支援制度など就農までの道筋に不安を感じる方が多く、事例を交えて相談者の疑問に答え、千葉で農業を始めるためのアドバイスを行いました。

新農業人フェアは農業に興味を持つ方の最初の相談会であり、このフェアをきっかけにその後も継続して相談している事例も数多くあります。新規就農相談センターでは、今後も千葉の農業の担い手候補となりうる方々の相談も継続していきます。



幕張新都心「花壇づくりコンテスト」開催結果

千葉県花き振興地域協議会

審査結果

参加団体名	賞名
三井アウトレットパーク幕張	最優秀賞
ホテル ザ・マンハッタン	優秀賞
株式会社幕張テクノガーデン	優良賞
ホテルニューオータニ幕張	奨励賞
ホテルグリーンタワー幕張	
千葉市幕張勤労市民プラザ	
セイコーインスツル株式会社	
アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張	
株式会社かねたや家具店	

千葉県花き振興地域協議会では、公共施設等での県産の花の活用促進を目的に、来訪者の多い幕張新都心エリアにおいて、地区内の企業、団体が参加した「花壇づくりコンテスト」を開催しました。

夏場の県産の花の需要拡大を目的とし、平成28年度から開催していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、初めて秋冬の開催となりました。参加団体は、11月上旬に生産者から配付されたパンジー、ビオラ、ガーデンシクラメン、ストック、プリムラジュリアンなどの県産の花苗で、色とりどりの花壇を作製し、管理してきました。

令和3年2月16日に、千葉県花き園芸組合連合会、幕張新都心まちづくり協議会などから選出された審査員により、経過写真等によりデザイン、管理、取組姿勢を书面審査し、以下の結果となりました。

最優秀賞の三井アウトレットパーク幕張の花壇については、審査員から「配色の濃淡が美しく、きれいに配置され、しっかり管理されている。」との評価がありました。



最優秀賞 三井アウトレットパークの花壇